

(新) 2030年循環型社会のグランドデザイン検討・実現事業

31百万円(0百万円)

廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室

1. 事業の概要

循環型社会の構築に向けては、低炭素社会、自然共生社会との統合や環境と経済の両立などを考慮しつつ、長期的な視野で循環型社会の姿を明確化し、必要な施策を検討することが求められている。

また、平成20年3月に閣議決定された第2次循環型社会形成推進基本計画は、5年程度を計画期間としており、次期計画の見直しに向けても、循環型社会の将来像を踏まえた具体的な施策の推進が不可欠である。

このため、将来(2030年目途)のあるべき循環型社会のグランドデザインを描き、そこから現在を振り返ることで、今後必要となる具体的施策の検討、実施の基礎とする。

2. 事業計画

2030年の循環型社会のグランドデザイン検討調査・策定

物質循環に係る環境及び経済社会状況等について、国内外の研究成果等も活用しながら調査分析を行い、有識者等による意見も踏まえ、物質循環、経済情勢等を統合的に検討し、2030年の循環型社会のグランドデザインを策定する。

グランドデザインに基づく物質フローの定量的評価

2030年の物質フローを定量的に解析するモデルを開発し、2030年の物質フローを試算し、有識者等による評価、分析を行い、のグランドデザインに反映させる。

次年度以降は、グランドデザインの実現に向けたロードマップの策定を経て、第3次循環型社会形成推進基本計画の見直しを進める。

3. 施策の効果

将来(2030年目途)のあるべき循環型社会のグランドデザインを描くことで、目指すべき循環型社会の構築に必要な具体的施策の立案、実施が可能となる。

2030年循環型社会のグランドデザイン検討・実現事業

循環型社会の構築

第1次循環計画
(H15年～)

第2次循環計画
(H20年～)

バックキャストिंग



2030年循環型社会グランドデザインから現在を振り返り、今後必要となる具体的施策につなげる。

2030年循環型社会のグランドデザイン

を目指す社会

- 物質循環を巡る社会像
- 物質循環の姿
- 各主体の役割

将来社会像とあるべき姿を組み合わせた循環型社会の像
そのときの各主体の役割等を示すことにより、**2030年循環型社会のグランドデザイン**を示す。

2030年の物質フローを定量的に解析するモデルの開発による具体的な姿

グランドデザイン実現に向けたロードマップの策定等を経て、**第3次循環型社会形成推進基本計画の見直し、循環型社会構築に向けた施策対策の企画立案に活かす。**